

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24223002	研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
研究課題名	社会的障害の経済理論・実証研究	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	松井 彰彦（東京大学・大学院経済学研究科・教授）

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる	
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>研究の進捗状況については、概ね順調であるが、理論と実証との相互の研究連携が今一つである。研究代表者及びゲーム論の理論家の連携研究者の理論研究は、国際的にも高い評価を得ているが、他の分野での研究成果が必ずしも国際的に高く評価されるレベルには達していない。研究者間の研究上の連携をより強めることにより、本プロジェクト全体の進展を期待する。なお、障害者追跡調査やそのデータに基づく研究には遅れが見られるので、この点には留意が必要である。また、E-Learning を用いた大学進学分析が他の社会的障害の研究分野とどう関わるのか不透明な面も見受けられる。</p>		